



学校法人志賀学園
久之浜こども園
平成29年10月31日

紅葉や銀杏の葉っぱが色づき始め、秋の深まりを感じる季節になりました。プランターに植えたブロッコリーやカリフラワーがぐんぐん生長して、子どもたちも水やりが楽しそうです。

園児の作品展には、保護者の皆様に多数おいでいただきありがとうございました。玄関ホールに飾られたちゅうりっぷ、たんぼぼ組の作品。廊下に掲示されたもも組、ばら組、すみれ組、さくら組の絵画や造形画。ホールに展示されたさくら組の動物園、すみれ組のバス、ばら組のお弁当広場など、もも組のまつぼっくりの飾り物。園児一人ひとりの個性がひかる楽しい作品でした。園内の小さな作品展でしたが、園児の作品を鑑賞し芸術の秋を感じられたことと思います。11月3日は『文化の日』です。家族で美術館や博物館に出かけたりして、文化や芸術に親しむきっかけになれば良いですね。

ところで、11月8日は、日本歯科医師会が制定した『いい歯の日』です。

「80歳になっても自分の歯を20本保とう」という『8020運動』は、口の中の健康を呼びかけています。一生自分の歯で食べ物を噛んだり話したりしていくためにも、歯を大切にしていきましょう。

福島県の小学校一年生のむし歯を調べたところ、26年度は全国最下位だったそうです。そこで県では、「福島県歯科口腔保健の推進に関する条例」を制定し、これまで行われてきた歯みがきの指導や食生活の指導に加え、歯の質を強くするフッ化物の利用を推進することになりました。それを受け、この度いわき市保健所からの勧めもあり、本園でもモデル事業として、フッ化物洗口の集団実施を行うことになりました。詳細については後日お知らせいたしますが、11月30日（木）13時30分より園歯科医師の村岡輝夫先生による保護者説明会を行います。

対象は4・5歳児になります。フッ化物は、アレルギーや中毒の心配もなく安全なものだそうで、毎日30秒ブクブクうがいをするだけです。

いくつになっても、自分の歯でおいしく食べ充実した生活を送るためには、子どものうちからむし歯予防に心がけたいですね。

だんだん寒くなってきて熱を出す園児も増えてきています。外から帰ったら、うがい、手洗いをしっかり行い、風邪などひかないように注意しましょう。